

令和7年度第1学期 新潟大学市民開放授業

受講生募集要項

新潟大学では、本学の教育・研究を広く地域社会に開放するため、様々な活動を行っています。その一環として、本学学生向け正規授業の一部を開放し、地域住民の皆様に受講していただくための「新潟大学市民開放授業」を平成14年度から実施しています。受講を希望される方は、次の要項によりご応募くださるようご案内いたします。

1 実施形態

(1) 新潟大学クォーター制

新潟大学は平成29年度から「クォーター制」を導入しています。

クォーター制とは、ひとつの年度を二分した第1学期・第2学期をさらに半分に分けた「クォーター」ごとに授業を行う制度です。

新潟大学ではこのクォーターのことを「ターム」と呼び、「1学期2ターム制」となります。

学期	ターム	授業期間
第1学期	第1ターム	4月 8日 ～ 6月 5日
	第2ターム	6月 9日 ～ 8月 4日
第2学期	第3ターム	10月 2日 ～ 12月 1日
	第4ターム	12月 3日 ～ 2月 10日

(2) 授業の開講形態

科目の特性や学修効果にあわせて①～⑤のパターンで授業を開講します。

どの授業形態で実施されるかは、8～16 ページの「市民開放授業実施科目一覧」で確認してください。

① 週2コマ×8週（曜日セット開講）

月曜日和木曜日、火曜日和金曜日など、授業と授業の間に期間を開けて、週2回授業を行うもの。

② 週2コマ×8週（2コマ連続開講）

1・2限連続や3・4限連続など、2つの授業時間をつなげて授業を行うもの。

③ 週1コマ×8週

授業期間が従来の半分となることにともない、1科目当たりの単位数も半分になります。このため、多くの科目は二分割された前半部分と後半部分の両方を複数タームにわたって履修することが基本となります。

④ 週1コマ×16週（2ターム連続開講）

従来どおりの学期単位16週で授業を行うもの。

⑤ その他

上記以外のパターンで開講されるもの

(3) 授業の受講形態

① 対面授業

② リアルタイム型オンライン講義 会議システム (Zoom) による非対面授業

受講には、インターネットに接続できるパソコン、タブレット、スマートフォン等をご用意ください。また、オンライン配信にかかる通信料は自己負担となります。十分な通信環境がない場合、高額な通信料がかかる可能性がありますので、受講には Wi-Fi などの十分な通信環境が必要です。

[オンライン講義の配信方法]

オンライン会議システム【Zoom】(ズーム)を利用したリアルタイム配信

- ・当日実施している授業をリアルタイム (同時) に受講します。
- ・受講には、Zoom アプリケーションのインストールや操作が必要です (詳細は【Zoom ビデオコミュニケーションズ社】のウェブサイトをご参照ください。)。また、音声通話による質問をご希望の場合は、マイク等を備えた機器が必要です。

また、オンライン授業に出席するための授業の情報 (URL、パスワード) を受け取るために、新潟大学学務情報システムを使用・操作していただきます。

2 開講期間及び授業時間等

(1) 開講期間 (授業実施日は、17 ページの「令和 7 年度新潟大学授業暦」をご覧ください。)

- 第 1 ターム実施科目 令和 7 年 4 月 8 日 (火) ～ 令和 7 年 6 月 5 日 (木) まで
- 第 2 ターム実施科目 令和 7 年 6 月 9 日 (月) ～ 令和 7 年 8 月 4 日 (月) まで
- 第 1・第 2 ターム連続実施科目 令和 7 年 4 月 8 日 (火) ～ 令和 7 年 8 月 4 日 (月) まで

- ・各曜日の授業回数を確保するため、5 月 1 日 (木) は月曜授業、5 月 7 日 (水) は火曜授業を行いますのでご注意ください。
- ・6 月 6 日 (金) は補講日のため通常授業は行いません。授業担当教員の指示に従ってください。

(2) 授業時間 ※令和 7 年 4 月から以下のとおり変更になります。

時限	1	2	3	4	5	6	7
時間	8:45 ～ 10:15	10:30 ～ 12:00	13:00 ～ 14:30	14:45 ～ 16:15	16:30 ～ 18:00	18:10 ～ 19:40	19:45 ～ 21:15

(3) 授業実施場所

- ①対面授業の科目は新潟大学五十嵐キャンパス (新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地) で実施。講義室はシラバス検索または教務課教育実施係へお問い合わせください。
- ②リアルタイム型オンライン授業は通信環境の良い場所で受講ください。

※市民開放受講生は新潟大学の無線 LAN システムを利用することができません。

学内で受講する場合は、モバイル Wi-Fi、デザリング等をご用意ください。

3 開放する授業科目及び募集定員等

(1) 授業科目

開放する授業科目は 8～16 ページに掲載しています。

都合により授業を実施する形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。

(2) 募集定員

1 科目につき若干名とします。

なお、本学学生と一緒に受講していただくこと及び聴講定員の都合から、次の場合は受講できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- ・本学学生のみで講義室の収容可能人数、Zoom の聴講可能人数を超えた場合
- ・市民開放授業の受講希望が著しく多くなった場合
- ・その他、授業実施上、調整が必要とされた場合

(3) 受講料

受講料については、8～16 ページの「市民開放授業実施科目一覧 受講料/円」をご確認ください。

ただし、学校教育法第 1 条に規定する学校、同法第 124 条に規定する専修学校及び同法第 134 に規定する各種学校に在学中の方は無料とします。申込み時に在学を証明する書類（学生証、在学証明など）の写しを添付してください。

(4) テキスト代、通信料等その他の費用

受講生が授業で使用するテキストの代金、通信料及び授業に係るその他の費用は、受講生の負担となります。十分な通信環境がない場合、高額な通信料がかかる可能性がありますので、受講には Wi-Fi などの十分な通信環境が必要です。

4 受講手続きの流れ

第1ターム実施科目 第1・第2ターム連続実施科目 を受講する場合	第2ターム実施科目 を受講する場合	内容
受講の申し込み <u>令和7年3月17日（月）～3月28日（金）</u> ↓ 受講許可通知等 <u>令和7年4月4日（金）までに新潟大学より交付される</u> ↓ 試聴講期間 <u>令和7年4月8日（火）</u> <u>～4月14日（月）</u> ↓ 受講をキャンセルされる場合は新潟大学へ連絡する 受講料の納付 <u>令和7年4月8日（火）</u> <u>～4月21日（月）</u>		○「受講申込書」に必要事項を記入の上、学務部教務課に提出する。 ○新潟大学より郵送またはメールにて、受講に必要な情報をお送りします。 ○受講許可通知を受け取りましたら、授業に出席し、概要等を確認する。 ○必ず受講申込先へご連絡ください。 ○受講料を最寄りの金融機関から期限までに納付する。
	試聴講期間 <u>令和7年6月9日（月）</u> <u>～6月13日（金）</u> ↓ 受講料の納付 <u>令和7年6月9日（月）</u> <u>～6月20日（金）</u>	

(1) 募集要項等の確認

「受講申込書」を新潟大学ホームページよりダウンロード、又は教育実施係へ請求ください。

新潟大学ホームページ 研究・社会連携 > オープンアカデミー > 市民開放授業
<https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/learning/>

(2) 受講の申込み

3月28日(金)までに「新潟大学市民開放授業受講申込書」に必要事項を記入のうえ、下記のいずれかの方法でお申し込みください。電話による受付は行いません。

- 郵 送 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町 8050 番地
新潟大学 学務部教務課 教育実施係 市民開放授業担当宛
※期日までに必着となるよう送付してください。
- 持 参 総合教育研究棟A棟1階3番窓口 (平日9:00~17:00)
- E-mail s-kaihou@ge.niigata-u.ac.jp

※メールの受信設定について、ドメイン指定受信をされている場合は上記アドレスおよびパソコンからのメールを受信できるように設定してください。

(3) 受講許可通知等の交付

受講に必要な情報を郵送またはメールします。受講2日前までに届かない場合はご連絡ください。
また、受講できない場合にはその旨通知いたします。(☎025-262-6307)

(4) 試聴講期間

- 第1ターム実施科目 令和7年4月8日(火) ~ 令和7年4月14日(月)まで
- 第2ターム実施科目 令和7年6月9日(月) ~ 令和7年6月13日(金)まで
- 第1・第2ターム連続実施科目 令和7年4月8日(火) ~ 令和7年4月14日(月)まで

この期間中に授業の概要等をご確認いただき、**受講をキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。**

(5) 受講料の納付

金融機関窓口又はATMにて、受講する授業科目分の受講料を、納付期限までにお振込してください。期限までに受講料の振込がない場合は、受講できません。

振込期間

- 第1ターム実施科目 令和7年4月8日(火) ~ 令和7年4月21日(月)まで
- 第2ターム実施科目 令和7年6月9日(月) ~ 令和7年6月20日(金)まで
- 第1・第2ターム連続実施科目 令和7年4月8日(火) ~ 令和7年4月21日(月)まで

振込先 金融機関名： 第四北越銀行 内野支店
預金種別： 普通
口座番号： 1658281
口座名義者： 国立大学法人新潟大学

※注意点・振込手数料は申込者の負担となります。

5 受講に際して

(1) 欠席について

都合により授業を欠席する場合でも、本学及び授業担当教員へ連絡する必要はありません。

(2) 休講、補講、講義室変更について

やむを得ない事情により、講義室の変更、授業を休講する、あるいは補講を行う場合は学務情報システムにてお知らせします。

自宅を出る前に天候不良等で授業が開講されるかどうか心配な場合は、教務課教育実施係【☎025-262-6307】へお問い合わせください。

(3) 講義資料

授業によっては、授業で使用する資料の送付を、「学務情報システム」により行う場合があります。印刷を希望される場合は、「③教務課」窓口（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A 棟 1 階）にお申し出ください。その際、印刷にお時間をいただく場合がありますので、お早めにお越しください。

(4) 受講生の呼び出し等

受講生の呼び出しは行っておりませんので、あらかじめご承知おきください。また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。

(5) 受講の停止

受講生が受講生としてふさわしくない行為等を行った場合、受講を停止することがあります。なお、受講停止となっても納入済の受講料は返還できません。

(6) 損害賠償

本学の施設、設備等を破損等したときは、速やかに届け出てください。また、その損害を弁償していただくことがあります。

(7) 通学方法等

本学では、構内における教育・研究環境の維持や交通事故等の防止対策として、自動車等の入構規制を行っております。可能な限り公共の交通機関をご利用ください。

事情により自動車等を利用して通学しなければならない方は、「③教務課」窓口（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A 棟 1 階）にお申し出ください。

(8) 学内施設の利用等

附属図書館（中央図書館）及び福利厚生施設（新潟大学生協食堂部、書籍部、購買部等）をご利用いただけます。利用の詳細は、各施設に直接ご確認ください。

(9) 市民開放授業は、単位の授与は行われません。

6 市民開放授業実施科目

【実施する科目】

科目区分（細区分）	ページ	科目区分（細区分）	ページ
健康・スポーツ（体育講義）	8	自然科学（理学）	9～10
自然系共通専門基礎（数学・統計学）	8	自然科学（工学）	10
自然系共通専門基礎（物理学）	8	人文社会・教育科学（人文科学）	11
自然系共通専門基礎（生物学）	9	人文社会・教育科学（教育人間科学）	11
自然系共通専門基礎（化学）	9	人文社会・教育科学（法学）	12～16
		医歯学（歯学）	16

「分野」「水準」について

各科目には、その科目の「分野」と「水準」がそれぞれ2桁の数字（コード）で示されています。「水準」は、10の位で聴講できる対象者を、1の位で授業の水準を示しています。

【分野コード表】

10	情報	51	電気電子工学
13	芸術	52	土木工学
14	健康スポーツ	53	建築学
15	生活科学	54	材料工学
16	科学技術社会論	55	プロセス工学
17	博物館学	56	人間医工学
28	哲学	57	生物学
29	文学	60	農学
30	言語学	61	農芸化学
31	史学	62	林学
32	人文地理学	64	農業経済
33	文化人類学・民俗学	65	農業工学
34	法律学	66	畜産学
35	政治学	70	英語
36	経済学	71	外国語
37	経営学	74	キャリア意識形成
38	社会学	75	新潟大学個性化科目
39	心理学	76	大学学習法
40	教育学	77	課題研究
41	数学	80	基礎医学
43	物理学	81	臨床医学
44	地学	82	社会医学
46	化学	85	看護
47	応用化学	86	福祉
49	工学基礎	87	境界医学
50	機械工学	90	基礎歯学
		91	臨床歯学
		92	社会歯学
		99	その他

【水準コード表】

10の位の数字		1の位の数字	
0	全学の学生を受け入れることが可能な科目	1	大学学習法など、大学での学習を円滑にするためのもの
1	当該学部（学科）の学生に限られる科目	2	高等学校との接続を意識した水準（リメディアル）
2	教員免許など資格に関わる科目	3	通常の大学の基礎的水準
		4	専門の中核的水準
		5	発展的内容の科目で大学院との接続水準

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

健康・スポーツ（体育講義）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	252G2036	14	03	健康スポーツ科学講義B	2	水	4	小林 日出至郎	120	対面授業	受講者は、保健体育と健康スポーツに関して、実務経験を生かして、理論・健康科学・生涯スポーツ等の観点から、現代社会の課題を理解し、身体教育や健康運動等の教育・文化活動のあり方について学習します。	7,000

自然系共通専門基礎（数学・統計学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	251G5007	41	03	数学基礎B 1	1	金	3	星 明考	240	対面授業	ベクトル，行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており，数学における重要な基礎科目であるばかりでなく，自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
2	252G5009	41	03	数学基礎B 2	2	金	3	星 明考	240	対面授業	ベクトル，行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており，数学における重要な基礎科目であるばかりでなく，自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
3	251G5008	41	03	数学基礎B 1	1	水	3	小島 秀雄	150	対面授業	ベクトル，行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており，数学における重要な基礎科目であるばかりでなく，自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
4	252G5010	41	03	数学基礎B 2	2	水	3	小島 秀雄	150	対面授業	ベクトル，行列や連立1次方程式の解法などを学ぶ。これらは線形数学という分野に属しており，数学における重要な基礎科目であるばかりでなく，自然系および社会系諸分野の基礎科目にもなっている。	7,000
5	251G5012	41	03	統計学基礎1	1	月	5	坂井 一貴	150	対面授業	情報化が進展し膨大なデータが容易に取得でき，かつ不確実性の高い世の中である現代において，必要なデータを収集し，それを読み解く統計的なものの見方や考え方は自然科学分野に限らず，人文科学，社会科学などの全分野で重要になってきています。 また，これらの社会的な変化に伴い，内閣府の「AI戦略2019」において「数理・データサイエンス・AI」はデジタル社会の基礎知識として位置づけられ，すべての大学生に対してリテラシー教育が必要とされました。 本講義では，統計学の中で基礎的な部分を占める『記述統計学』について学びます。	7,000
6	252G5013	41	03	統計学基礎2	2	月	5	坂井 一貴	150	対面授業	情報化が進展し膨大なデータが容易に取得でき，かつ不確実性の高い世の中である現代において，必要なデータを収集し，それを読み解く統計的なものの見方や考え方は自然科学分野に限らず，人文科学，社会科学などの全分野で重要になってきています。 また，これらの社会的な変化に伴い，内閣府の「AI戦略2019」において「数理・データサイエンス・AI」はデジタル社会の基礎知識として位置づけられ，すべての大学生に対してリテラシー教育が必要とされました。 「統計学基礎1」に引き続き，本講義では統計学の中で応用部分である『推測統計学』について学びます。	7,000

自然系共通専門基礎（物理学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	250G5016	43	03	物理学基礎A I	1・2	月	5	浅賀 岳彦	95	対面授業	物理学基礎A Iでは，高校物理で学んだ内容のうち，質点の力学を体系的に整理し，基本的な3つの運動法則から様々な法則が導かれることを学ぶ。また，質点の運動を記述するために不可欠な数学を理解し，その取り扱いに習熟することを目指す。	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

自然系共通専門基礎（生物学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	251G5032	57	03	生物学基礎A	1	火・金	3	宮崎 勝己	150	対面授業	生物の構造上、機能上の単位である細胞の働きを理解する。生物を構成する生体物質の構造と性質を学び、その知識を基礎として細胞の構造と機能、エネルギーの流れや物質循環の概念を理解する。本講義の履修を通じて、細胞の観点から見た生物学の一般的内容を学ぶ。	15,000
2	252G5033	57	03	生物学基礎A	2	火・金	2	林 八寿子	150	対面授業	生物の構造上、機能上の単位である細胞の働きを理解する。生物を構成する生体物質の構造と性質を学び、その知識を基礎として細胞の構造と機能、エネルギーの流れや物質循環の概念を理解する。本講義の履修を通じて、細胞の観点から見た生物学の一般的内容を学ぶ。	15,000

自然系共通専門基礎（化学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	252G5029	46	03	化学基礎B	2	月・木	4	大鳥 範和	150	対面授業	この講義では、具体例をあげながら原子や分子の集合体としての物質の状態、物質の状態の変化と相平衡、物質の化学変化と化学平衡を取り上げ、これらの諸現象の背景にある基本原理についてわかりやすく解説する。授業の各回において一般的な内容を含んでおり、この科目を履修することにより化学の包括的な内容を受得できる。	15,000

自然科学（理学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	251S0553	41	03	線形代数IIA	1	月・木	2・3	星 明考	160	対面授業	線形代数IA、IBの続編として、平面、空間のベクトルを拡張したn次元数ベクトル空間について解説する。n次元数ベクトル空間は、線形空間の代表であり、一般の線形空間の模型となる。座標、正規直交基底、1次変換、固有値、固有ベクトルなどを学ぶ。また、行列の対角化とその応用についても学ぶ。	15,000
2	251S2530	43	04	特殊相対論A	1	水	1	中野 博章	70	対面授業	特殊相対性理論は、時間の遅れや、 $E=mc^2$ などの印象的な側面ばかり強調されてしまいがちですが、ローレンツ変換を軸に数学的に曖昧さなく定式化でき、物理学の様々な分野と密接に関係する重要な学問です。その基礎的な考え方を正確に学び、使いこなせるようになることは、現代物理学を学ぶ上で必要不可欠となります。この科目では、特殊相対性理論の考え方の基礎から応用までを数学的な定式化を通じて解説します。なお、大学初年度レベルの力学、微分方程式やベクトル解析、および電磁気学についての知識は必要とします。	7,000
3	251S3501	46	03	無機化学Ⅱ	1	火・金	2	後藤 真一	60	対面授業	前半の無機化学Iで習得した無機化学の原理的概念を基に、主族元素を中心に元素や無機化合物の性質について系統的に講義する。後半は、放射壊変の基本的な事柄を解説する。	15,000
4	250S0565	46	03	生体分子化学I	1・2	火	3	古川 和広	60	対面授業	生体の構造と機能を正しく理解するためには、生体を構成する成分の分子構造と特性を理解することが重要である。本講義では生体を構成する主要な成分のうち、ヌクレオチドと核酸、アミノ酸とタンパク質、および糖について、それらの構造、性質および反応について解説する。	15,000
5	251S0579	46	04	物質反応化学	1	火・金	2	臼井 聡	70	対面授業	化学物質は、様々な姿に変化しながら地球上を循環している。本講義では、結合の切断と生成により成り立つ化学反応の理論について解説する。まずはじめに、化学反応において重要な結合の分極、分子内の電子分布と化合物の立体構造について解説する。その後、具体的な有機化合物の反応例を取り上げながら、反応形式の分類を反応例とそれらを表現する反応式の書き方を解説する。最後に、生体内における有機化学物質の反応について述べる。	15,000
6	250S0583	57	04	機能形態学	1・2	水	2	林 八寿子	40	対面授業	植物は長い歴史の中で周りの環境に適応し進化を続けてきた。そして、従属栄養生物である動物と異なり、光合成により独立栄養をおこなう特殊な生物である。そこで、この講義では、植物細胞の複雑な構造や機能を知り、動物細胞とは異なる点を明らかにしながら植物細胞の特殊性を学ぶ。また、その細胞からなる植物体の構造や組織を学び、植物体を理解する。	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

自然科学（理学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
7	251S0581	44	04	環境気象学	1	火・金	3	本田 明治	40	対面授業	人間生活に関わりの深い気象学は、様々な自然環境を経合的に理解する上で重要な学問である。本講義では、気象学に関わる基本的で重要な項目について、最新の研究成果も含めた概要を学ぶ。また新潟県の冬の気象を理解する上で不可欠である、降雪・積雪現象についても概観する。	15,000
8	252S0582	43	04	基礎量子力学	2	月・木	1	副島 浩一	80	対面授業	赤外線は二酸化炭素には吸収されますが、窒素には吸収されません。これはなぜでしょうか？これに答えるためには量子力学の知識が必要になります。我々のくらす世界と大きくかけ離れたミクロの世界を支配している量子力学は、とっつきにくい（敷居の高い）学問分野だと言われています。確かに、「なるほど」と納得するには我々の経験と大きく違っています。しかし現在では、先人の努力によって、かなり系統立てて整備された学問体系が築かれていますので心配にはおよびません。本科目では、量子力学に親しんでもらうということを第一義にして、何に役立っていくのかという出口を示しながら初学者にも分かりやすい講義を心がけていこうと思っています。	15,000
9	252S0556	41	03	線形代数IIB	2	月・木	2	鈴木 有祐	160	対面授業	この講義においては、基礎的な行列、行列式の計算を習得し抽象的な線形空間の概念を学んだ学生を対象に、線形代数IIAの内容をさらに発展させた講義を行う。講義の主題は「行列の標準化」であり、まずは行列の固有値・固有ベクトルの概念を学び、それらの性質を理解する。また、行列の対角化、三角化などの計算方法や理論を学ぶ。さらに、2次形式等への応用等も行っていく。	15,000
10	252G6014	41	03	基礎数理A I	2	火・金	4	高橋 剛	100	対面授業	理工学の諸学問・技術を学ぶための素養として、微分積分学は必要不可欠である。この科目では、高校までの数学を前提にして、1変数関数の微分法と積分法を中心に概説する。	15,000
11	252G6013	41	03	基礎数理A I	2	火・金	3	山本 征法	150	対面授業	工学をはじめ、データを分析する学問分野において、数学の素養は欠かせない。本講義では、理工学の諸分野を学ぶ上で必須の微積分学について扱う。特に1変数関数の微積分学を学ぶ。	15,000
12	252G6011	41	03	基礎数理A I	2	月・木	4	酒匂 宏樹	150	対面授業	1変数関数の微分積分学を学ぶ。工学においても科学においても数学の知識は不可欠で、本講義はその出発点となる。微分積分学は様々な方法でとらえることができるが、この講義ではテイラー展開など近似的理論を重視する。授業の後半では積分について学ぶ。	15,000

自然科学（工学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	252G6025	47	03	生活を支える化学技術－化学工学への招待－	2	火・金	2	清水 忠明	150	対面授業	料理は典型的な化学製品製造プロセスである。料理をする食材の中ではメイラード反応などの化学反応が起こっているが、料理の際に実際に注意するのは「食材をどのように切るか」「加熱する方法は」「かき混ぜ方は」などであって、化学反応式を意識することはほとんどないだろう。このことは、化学製品を製造するときは、化学反応以外のいろいろなことに配慮しなければならないことを意味している。それらはすべて化学工学の要素である。化学工学は、化学技術を通して環境に優しく生活を豊かにするための学問である。この科目では、暮らしの中のいくつかの題材を取り上げて、化学工学の考え方と手法を解説する。	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学（人文科学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	251H2001	39	03	心理学概論A	1	月・木	2	新美 亮輔	70	対面授業	心理学の基本的な考え方と研究方法、および現代の心理学に至るまでの歴史的歩みについて概観した後、心理学の幅広い分野のうち感覚と知覚、認知、記憶、学習、発達と加齢、神経、精神疾患などの基礎を解説します。「心理学概論B」と合わせて心理学全体をカバーする構成です。スタンダードな講義形式で実施します。	15,000
2	252H4001	39	04	知覚・認知心理学B	2	金	3・4	新美 亮輔	70	対面授業	認知心理学 (cognitive psychology) の基礎的な知見を、スタンダードな講義形式で解説します。主なトピックは、記憶、注意、視覚認知、意思決定、問題解決、意識など。関連する神経科学の知見にも触れます。なお、言語についてはこの講義では扱いません。本講義は、心理学の概論的講義を受講済の知識があることを前提とします（たとえば「短期記憶」「学習」などの心理学の基礎的用語を理解していることを前提とします）。	15,000
3	251G7049	10	03	メディアの記号論	1	月・木	4	田中 敦	150	対面授業	グローバル化と多文化共生が進む現代社会において、多様な経路と手法とで行われる情報伝達に注目し、各種「記号」を通じて送受信される情報メッセージを読み解く視点を学ぶ。	15,000
4	250G7057	30	03	日本語教育Ⅰ－A	1・2	月	3	池田 英喜	50	対面授業	日本語を母語としない人たちに外国語として日本語を教えるための基礎を学ぶ。 英語その他の外国語を見ると同じような視点から日本語を観察する。 観察対象は、日本語の音、リズム、語、文法、文、文章という具合に、小さな単位から大きな単位まで多岐に及ぶ。	15,000
5	251G7056	29	03	日本古典文学0	1	金	1・2	阿部 亮太	100	対面授業	『平家物語』は日本の古典文学を代表する傑作であり、なかでも覚一本は南北朝期に再編され、表現・構成などの文芸性の高さに定評がある。よって、本授業では覚一本『平家物語』の原文を読み、その内容や表現の特徴、それらの成立する歴史的背景、文化的環境などについて理解・考察を深める。のみならず、それに関連する他文献をも参照し、より広い文学史の中に『平家物語』を捉える視点を確保する。	15,000

人文社会・教育科学（教育人間科学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	250K5651	32	04	地理学特講Ⅱ	1・2	水	2	北村 繁	—	対面 非対面 併用 授業	火山噴火は多様な現象で、火山災害も多様なものになります。火山噴火のタイプ別に噴火現象とそれに伴う火山災害について紹介・解説します。また、火山の危険性でなく、火山の恵みについても触れ、自然の猛威と恵みが隣り合わせにあることを見つめ直します。	15,000
2	250K6401	14	04	体育原理	1・2	火	1	小林 日出至郎	—	対面 授業 (予定)	体育・スポーツ教育に内在する原理的諸問題、概念論、目的・目標論、授業の原則、安全等について概説する。	15,000
3	250K6402	14	04	体育心理学	1・2	月	1	森 恭	—	対面 授業 (予定)	体育授業の展開や指導に関わる心理的諸問題について概説する。特に運動の制御と学習、動機づけを中心に講義を進める。	15,000
4	250G7062	13	03	ビジネス書道入門	1・2	月	3	岡村 浩	200	対面 授業	様々な欲求の中で ○文字が上手になりたい と思う人々は結構多い。 生まれながらにして人それぞれ手筋があって、生まれながらにして人それぞれ外見や性情が異なるのと、それは同じものである。生まれつき備わった各人の持ち味の中で本授業では特に、「文字を書く時の手くせ」をあらためて見つめ直しその特質を認識し、そして活用することを第一の目的とする。 授業形態は、実技において手本を配布しそれを練習する。希望者には、添削を行う。あと半分、実技ばかりでなくものを鑑賞して見て楽しむ、いわば伝統的心の教育たる面も重視して、そのためのテキストを授業中活用する。	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	251G7064	34	03	リーガル・システムA (人文社会科学入門（法学）)	1	水	3・4	林 滉起	240	対面授業	本科目は、これから主として法学を学ぼうとする学生を対象にした、転換・導入教育科目である。授業は3人の教員のオムニバス方式による講義形式で実施し、法学の入門、刑法の入門、そして民法の入門となる内容について講義する。	15,000
2	252G7063	34	03	国際関係入門	2	月・木	4	渡辺 豊	250	対面授業	国際社会の様々な動きについて、法の観点から導入的な講義を行います。国際社会の構造やそこで生じている問題について理解し、考えられるようになることを目指します。	15,000
3	251L3007	34	4	行政法Ⅲ	1	水	3・4	今本 啓介	200	対面授業	本授業では、行政法のうち、行政法総論の中の「行政手続法」及び「行政組織法」にあたる部分を扱い、行政組織法については、特に、行政組織法総論、国家行政組織法・内閣法、公務員法、公物法を扱う。地方行政組織法（地方自治法）は、「自治体法」で扱う。	15,000
4	252L3008	34	4	特殊講義（国家補償法）	2	水	1・2	今本 啓介	200	対面授業	本授業では、行政法のうち、行政法の中の「国家補償法」にあたる部分を扱う。	15,000
5	251L3010	34	4	租税法	1	月	3・4	今本 啓介	50	対面授業	租税法のうち、租税法総論及び所得税法について講義を行う。	15,000
6	252L3102	34	3	民法Ⅱ	2	月	1・2	岩崎 勝成	300	対面授業	本科目では、民法典にある諸制度のうち、事務管理制度（697条以下）、不当利得制度（703条以下）、そして不法行為制度（709条以下）を扱う。各制度が民法典の中でどのような位置づけになっているのか、その制度が用意されている意義、などの総論的なことから、具体的な事例において争点となっている各論的な知識などについて説明する。	15,000
7	251L3104	34	3	民法Ⅳ	1	水	1・2	林 滉起	300	対面授業	本講義では、講学上「債権総論」と呼ばれる分野のうち、債権の種類、債務不履行に基づく損害賠償責任、受領遅滞、債権者代位権、詐害行為取消権、第三者による債権侵害を中心に扱う。「債権総論」のそれ以外の内容については、民法Ⅴ（債権総論2）の対象となる。	15,000
8	252L3105	34	3	民法Ⅴ	2	金	1・2	田中 幸弘	250	対面授業	本講義は、民法典第三編債権編のうち、講学上「債権総論」と呼ばれる分野の後半部分を学習する。前半部分は「民法Ⅳ（債権総論1）」（第1ターム）において学習する。 本講義の主たる対象は、実務上、債権管理・回収に関わる法として位置付けられる。具体的には、主に金銭消費貸借契約に基づいて生じた金銭債権を満足（債権回収）させるために設けられた、種々の法的規律となる。換言すると、本講義は、機能的には、いったん発生した金銭債権がどのような形で消滅するかという点に焦点を当てている。債権の消滅原因としての典型は弁済であるが、民法はそれ以外にも各種の債権消滅原因を用意している。他方、債権を回収できず消滅してしまうのを阻止するため、債権者は当該債権を適切に管理しなければならない。民法はこうした手段も用意している。本講義では、社会生活上も非常に重要な役割を演じている債権の管理・回収プロセスの趣旨・内容に関して、その社会的意義と理論構成に留意しつつ、概説及び検討を行う。	15,000
9	251L3108	34	3	民法Ⅷ	1	金	3・4	喜友名 菜織	300	対面授業	民法第4編「親族」を対象とし、家族という存在が民法ではどのように規律されているかを概説する。具体的には、夫婦、親子、親権、未成年後見、扶養について取り扱う。併せて、現代社会における家族の多様化・個人化の進展をふまえ、家族の法的保護に関する社会的課題についても検討する。なお、後見のうち、成年後見制度については「民法Ⅰ（民法総則）」で取り扱われることが予定されているため、基本的に本講義の対象としない。	15,000
10	251L3115	34	4	会社法Ⅱ	1	木	1・2	酒巻 雄司	150	対面授業	本講義では、会社法Ⅰに引き続き、会社法について講義を行う。本講義ではまず、株式（総説、株式の譲渡等）について説明した後、資金調達（募集株式の発行、新株予約権等）を取り上げる。また、株式に関連して、金融商品取引法の概説も行う。	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
11	252L3116	34	4	会社法Ⅲ	2	木	1・2	吉田 正之	150	対面授業	会社法は商法の主要な部門である。この講義では「会社法」における会計、資本と剰余金との関係、会社の設立、組織再編について取り上げる。会社の設立は、いわゆる準則主義に基づくものであるが、関係者の利害と設立後の会社との関係において重要な部分である。また、近時の企業活動の多角化などを目的とした組織再編は、会社法における重大な関心事となっている。	15,000
12	252L3118	34	4	特殊講義（企業取引法）	2	火	1・2	内田 千秋	150	対面授業	本講義は、企業取引に特有のルールとして、商法第1編の「商法総則」および第2編「商行為」の内容について学ぶものである。商法総則・商行為法は、取引一般について定める民法の特別法にあたる。本講義では、民法のルールと対比しつつ、商法総則・商行為法の特徴を指摘する。また、企業取引の実務において、商法総則・商行為法がどのように問題になるのかにも触れる。	15,000
13	252L3201	34	3	刑法Ⅰ	2	火	1・2	田寺 さおり	300	対面授業	本科目は、講学上「刑法総論」と呼ばれる学問領域の前半部分を対象とする。「刑法総論」は、犯罪と刑罰に関する一般原則及びすべての犯罪に共通する成立要件を明かにすることを目的としているが、本科目では、そのうち、「故意の単独犯が犯罪を既遂に至らせる」場合における犯罪の成立要件、つまり、犯罪の基本形態の成立要件について学ぶ。なお、本科目の続編である「刑法総論」の後半部分は、「刑法Ⅱ（刑法総論2）」において扱われる。	15,000
14	251L3203	34	4	刑法Ⅲ	1	月	1・2	丹羽 正夫	250	対面授業	1. この講義では、伝統的な「刑法各論」が扱う範囲のうち、個人的法益に対する罪を対象として、個々の犯罪の成立要件を検討します。 2. 具体的な問題点の検討に際しては、刑法各論において基本となる条文解釈の方法を習得できるよう留意するだけでなく、理論的問題が現実の事件でどのように争われるかを見るために、設例を用いたり、重要判例をも参照したりしながら議論を進めます。	15,000
15	252L3205	34	4	刑事訴訟法Ⅰ	2	水	3・4	稲田 隆司	150	対面授業	刑事手続の全体像と基本理念を確認した上で、主として犯罪捜査の流れを概観しつつ、これら一連の手続内に共通する論点・問題および個々の捜査手法それぞれに固有の諸論点・諸問題について検討する。	15,000
16	251L3207	34	4	特殊講義（被害者学）	1	火・木	3	櫻井 香子	150	対面授業	本講義では、比較的新しい研究分野である被害者学のうち、特に、犯罪被害者学に焦点をあて、現在我が国において実施されている犯罪被害者保護のための様々な法律上の施策について概説する。本科目は、法曹として現に実務に携わっている教員（元検事、現弁護士）が、実務の経験を活かして授業を口う。	15,000
17	251L3402	34	4	情報法Ⅰ	1	月	1・2	鈴木 正朝	150	対面授業	指定テキストを参照しつつ下記の問題を取り上げながら、プライバシー権の保護及び個人データ保護法制と社会について考えていきます。 授業時間外の学習時間について各回4時間程度を目安とした事前調査課題を授業計画詳細情報に示しています。具体的には各回の講義時に指定します。 なお、本科目は、情報法関連の実務経験を有する教員が、それを活かして企業対応の実際、立法化に向けた対応の実際にもふれながら授業を行います。 1. 基本構造 （1）法目的：「個人の権利利益とは何か？」 （2）個人情報保護法制2000個問題と令和3年個人情報保護法改正（公民一元化） 2. 民間部門 （1）JR東日本：記名式Suica履歴データ無断提供事件～匿名化・仮名化 （2）リクルート：リクナビ事件～同意があってもやってはならない不適正利用 （3）医療健康データの二次利用ルールの特別法 ～仮名加工医療データと統制された非選別利用 （4）自動運転システムのセンサーでの歩行者映り込み問題 （5）医学部入試の女子差別事件～利用目的関連性 3. 公的部門 （1）喫煙の課題－行政機関等の個人データ処理における濫用を防ぐために個人データ保護法制はどうあるべきか？現行法はなぜ行政機関等を十分に規律できないのか？ ① GIGAスクール（個別最適化教育）における教育データ（個人データ）利用の問題 ② 子の見守り政策における個人データ利用（日本版GAMINシステム）の問題 ※なぜPIAで、事前に問題発見や課題設定ができたのか？ （2）歴史的課題－個人データ保護法制のそもそもの立法事実（脅威）と本来的役割はなにか？（法目的における「個人の権利利益」の意味） ① ハンセン病患者の医療カルテ（マニュアル処理情報）の処理と隔離、断種手術問題② ナチスのパンチカードシステムとカード（マニュアル処理情報）選別機による処理とホロコースト問題	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
18	252L3404	34	4	情報セキュリティと法Ⅰ	2	水	3・4	須川 賢洋	150	対面授業	情報とセキュリティの関係を法律と技術の両方の見地から考察する。コンピュータ・サイバー犯罪に関する法律や、企業・組織における情報を保護するための法律、情報を安全に活用するための法律を中心に扱う。	15,000
19	251L3301	34	4	経済法Ⅰ	1	水	1・2	丁 宇	150	対面授業	本講義は、経済法の中核的地位を占める独占禁止法（競争法）を解説するものです。 独占禁止法は、事業者間の「公正且つ自由な競争を促進し……以て、一般消費者の利益を確保するとともに、国民経済の民主的で健全な発達を促進することを目的とする」法律です。公正かつ自由な競争は、市場経済体制を維持するための必須の条件であり、経済力の恣意的行使を抑制して良質廉価な商品提供と持続的なイノベーションを促進するための重要な存在でもあります。日本では、企業結合・不当な取引制限・私的独占・不公正な取引方法に対する規制は独占禁止法の4本柱とされており、そのほか、事業者団体や独占的状态などに関する規定も重要な役割を果たしています。公正取引委員会は、独占禁止法の違反行為を積極的に調査・対処しており、そして、違反行為の悪影響を明らかにする経済理論を基盤とする規制の国際的収斂を目指しています。したがって、独占禁止法及びその基礎となっている経済学の知識は、法律家が企業関係の事案を取る扱うためにも、一般消費者が市場経済のルールを把握するためにも、非常に有益なものです。本講義では、法令・ガイドライン・重要事例・経済理論などを踏まえて、日本独占禁止法の基本理念、規制内容、実務状況を解説します。また、諸外国の状況についても適宜紹介します。 本学の経済法講義は、前半の「経済法Ⅰ」（競争の実質的制限を違法性基準とする企業結合・不当な取引制限・私的独占を解説する）と後半の「経済法Ⅱ」（公正競争阻害性を違法性基準とする不公正な取引方法を解説する）に分かれています。どちらかのみを履修する場合を配慮しますが、両方の履修は勧めます。	15,000
20	251L3303	34	4	社会保障法Ⅰ（医療保障法）	1	金	1・2	田中 伸至	150	対面授業	所得保障法、医療保障法、社会福祉法制などから構成される社会保障法のうち、医療保障法を対象にします。 医療制度は、①医療職資格に関する法、②医療提供体制に関する法、③公的医療保険に関する法、④患者―医師・医療機関関係に関する法、⑤精神科医療、難病医療、感染症医療等特別な診療領域に関する法、⑥医学研究に関する法、⑦医薬品に関する法、⑧生殖や終末期に関する法などの多様な分野により重層的に構成されています。主に社会保障法法学と医事法学がこれらを研究対象としています。前者はおおむね②と③に焦点をあて、後者は①、④～⑦を取り扱っています。 本講義では、わが国医療制度の最大の特徴が国民皆保険の採用にあることを踏まえ、日常的に利用されているいわゆる保険診療を念頭に置いて医療保障の仕組みを考察します。すなわち、社会保障法学と医事法学との横断する形で①、②、③、④、⑦を取り扱います。 なお、②については医療法のみならず公的医療保険制度も大きな役割を果たしていますが、医事法学ではこれを視野に入れた検討はあまり行われていません。社会保障法学における研究の歴史も古くはありません。そこで、本講義では、公的医療保険、特に診療報酬制度を踏まえた上で②の解説を試みます。 各項目においては、法制度の内容と制度趣旨、歴史的展開や政策課題を中心に取り扱い、関連する重要な裁判例も検討します。	15,000
21	252L3304	34	4	社会保障法Ⅱ（総論・所得保障法）	2	金	1・2	田中 伸至	150	対面授業	所得保障法、医療保障法、社会福祉法制などから構成される社会保障法のうち、所得保障法と社会保障法の総論を扱います。 所得保障に関する制度には、年金、就労支援と労働保険、生活保護が含まれます。 社会保障法の総論としては、社会保障法と憲法、社会保障の方式の2つの分野を取り上げます。 各項目においては、法制度の内容と制度趣旨、歴史的展開や政策課題を中心に取り扱い、関連する重要な裁判例も検討します。	15,000
22	252L3701	35	4	公共政策	2	金	3・4	田中 伸至	150	対面授業	公共政策に関する研究は、 ① 公共政策の分析や策定の指針となる公共哲学、経済学等の規範理論、 ② 公共政策に関するプロセスの各段階を対象とする政策手段論、政策決定論及び政策実施・ガバナンス研究、 ③ 財政金融政策、産業・雇用政策、社会保障政策、国土交通政策、環境政策等の個別領域研究、 ④ 社会経済体制研究や福祉国家論 などの幅広い分野から構成されます。 本講義では、 上掲①のうち、市場の機能と政府の役割に関する規範理論を、 ③の中から、重要政策領域である雇用システム、老齢年金改革、保健医療政策、社会保障財源と経済成長を、 ④の福祉国家研究を取り上げ、概説します。	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
23	251L3305	34・35	4	社会福祉法制	1	金	3・4	田中 伸至	150	対面授業	所得保障法、医療保障法、社会福祉法制などから構成される社会保障法のうち、社会福祉法制を対象にします。 社会福祉法制では、介護保険、障害者施策、児童福祉と子育て支援、権利擁護などを扱います。これらの分野は、伝統的に、社会福祉と呼ばれてきた分野です。かつては、障害者福祉、老人福祉、児童福祉が社会福祉の主要な3つの分野でした。しかし、2000年に、介護保険法が施行され、老人福祉分野の中心は社会保険化されました。また、児童福祉分野は、近年、保育などの子育て支援の重要性が高まっています。このため、それぞれの分野の独自性が大きくなってきています。 そこで、この講義では、それぞれの分野の法制度を中心にみていくことにします。共通事項は、最後の方で見ておきます。 各項目においては、法制度の内容と制度趣旨、歴史的展開や政策課題を中心に扱います。	15,000
24	252L3306	34	4	労働法Ⅰ	2	金	1・2	木南 直之	150	対面授業	現代社会において生活する際には「労働」とのかかわりは不可避なものとなっている。 こうした労働関係・労使関係のルールを定めた「労働法」のうち、本講義では、労働組合が関係しない領域、即ち、個々の労働者と使用者との関係に関する問題について取り扱う。 従って、労働基準法、労働契約法等が講義の主たる対象となる。	15,000
25	251L3407	34	4	知的財産法Ⅰ	1	木	3・4	渡邊 修	150	対面授業	インターネット上を流通するコンテンツの大部分は文章、音楽、画像などの著作物です。そのためインターネット時代の法的インフラとして著作権法が注目されています。今日の著作権法学は、コンテンツの利用技術の急激な進歩に伴い出現した様々な法律問題の解決を迫られており、最も知的刺激に満ちた法領域のひとつとなっています。著作権法の基本的理解を主眼としつつ、サイバー法も含め、最先端の問題も皆さんと共に考えていきます。	15,000
26	252L3408	34	4	知的財産法Ⅱ	2	木	3・4	渡邊 修	150	対面授業	特許法は、産業の発達を目的とする法律であり、特許法の保護のレベルは各国の産業の発展状況に応じて異なりうる。一般に発展途上国では、他国の先進技術を自国に取り込み自国の産業を育成しようとはかるため保護のレベルは低くなり、逆に先進国では、膨大なコストを投下して開発した先端技術が容易に模倣されることを許しては技術投資へのインセンティブを殺ぐ結果となるので保護のレベルは高くなる。日本の産業界はこれまで品質のよい大量生産品を安価に提供することで世界の市場へ進出して行ったが、こうした産業形態は模倣が容易であり、実際、これらの分野では日本はアジアの新興工業国にどんどん追い上げられている。今、日本の産業界に求められているのは他国が容易に真似のできない高付加価値の工業製品を開発することであり、その法的な担保として、プロパテント（特許強化）政策が叫ばれているのである。こうした事情を反映して、「遺伝子特許」「バイオテクノロジーの保護」「ビジネスモデル特許」「ソフトウェア特許」などの言葉が連日、新聞に踊っている。こうしたなかであって、発明者の利益を守りつつ、技術開発への企業のインセンティブを高め、ひいては産業がもっともよく発達するような制度設計・解釈論を諸君とともに考えていくのが、本講のねらいである。	15,000
27	252L3502	34	3	法社会学	2	木	1・2	田巻 帝子	250	対面授業	法社会学は、法が実際の社会とどのようにかわり機能しているのか、また法をめぐる社会現象はどのような（法的な）システムやメカニズムで説明することができるのかなど、法と社会との相互作用について探求する学問である。実定法の法解釈学とは異なり、社会のさまざまな「現実（実態）」について客観的・経験的なデータ等を用いて明らかにしようとする経験的社会科学であり、「基礎法学」の一分野である。	15,000
28	251L3601	35	3	政治学Ⅰ	1	月・木	5	益田 高成	250	対面授業	政治学の導入科目に位置づけられる本講義では、政治学という学問に初めて触れる学生を対象に、政治学の基本となる概念や考え方、理論を紹介しつつ、制度と動態の両面から現代の日本政治を解説する。	15,000
29	252L3702	35	3	行政学Ⅰ	2	木	3・4	馬場 健	250	対面授業	行政学は、制度、管理、政策の各視点から形成される。本科目では、これら各々視点から行政活動を分析する基本的な概念、用語について概説する。	15,000
30	251L3001	34	4	特殊講義（教育法）	1	火	1・2	近藤 明彦	150	対面授業	教育法は、教育制度に固有の法体系を指す。 本講義では、学校教育に関連する法体系・法制度の基礎を学習するとともに、学校教育に生ずる諸テーマについて法的な見地からの考察を行う。 なお、本科目は、法曹実務の経験を有する教員が、学校教育に関わる法的紛争の実務経験を活かして授業を行う。	15,000

令和7年度 第1学期 市民開放授業実施科目一覧

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
31	252L3301	34	3	国際組織法	2	木	1・2	渡辺 豊	80	対面授業	国際社会において近年重要性を増している、国際組織に関する国際法を本稿では講義の対象とする。今年度は、違法な武力行使に対する国際組織の対応をテーマとして取り上げ、法的観点からその意義と問題点について検討する。	15,000
32	250L3303	35	3	国際関係論	1・2	水	2	神田 豊隆	100	対面授業	「戦後日本と国際政治」と題して行う講義である。1945年から今日までの時期において、日本は国際政治にどのように関わってきたのか。戦後日本の対外構想とその実践を、政府や政治指導者とともに、言論・思想界、各種運動体などにも目を配りつつ検討する。	15,000
33	252L3604	35	3	アジア政治外交史	2	月	1・2	李 秉哲	150	対面授業	日本にとって東アジアに対する十分な理解が重要であることはいうまでもない。東アジアは、世界の中で特に目覚ましい経済成長を遂げた地域であると同時に、1980年代以降、国家間戦争は起こっていない比較的平和な地域でもある。しかし、わずか数十年前までの東アジアは、世界で最も戦争の頻発した貧しい地域であった。さらに、近現代の東アジア諸国・地域は、近代化や帝国主義、植民地支配、国家間戦争、内戦、冷戦、経済発展、民主化、地域協力といった様々な出来事を経験してきた。したがって、東アジアに対する理解を深めるためには、日本を含む東アジア諸国・地域は、上記のような様々な局面にいかに対応してきたのか、そしてその中でお互いにいかなる関係を構築してきたのかなどについて考察することが求められるといえる。以上のことから、本講義では、東アジア政治外交史をテーマとし、19世紀後半から21世紀初頭にかけての主要な出来事とその影響について概観する。特に、各国・地域間の相互関係に加え、内政と外交の相互作用についても考察する。	15,000
34	252L3819	34・35	4	現代社会と法（地域共生社会と法）	2	金	3・4	上山 泰・他	150	対面授業	厚生労働省を中心に政府が推進する地域共生社会の確立という、きわめて現代的な政策課題について、民法、商法、社会保障法といった複数の法領域の視点から理論的な考察をおこなう。さらに、地域共生社会の基盤となる権利擁護支援という考え方を理解するために、弁護士、社会福祉士、社協職員として権利擁護支援活動に関する豊富な経験を持つ外部講師3名を招いて、それぞれの立場から実践的な課題について深掘りしてもらおう。最後のシンポジウム授業では、6名の担当講師全員がシンポジストとして登壇し、理論と実務の連携の視点から、現代的な社会問題の解決策を探る。	15,000

医歯学（歯学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	251G8005	90	03	食べる	1	火	3・4	早崎 治明	50	対面授業	「食べる」ことはヒトの基本である。いかに楽しく健康に「食べる」か？新潟は四季の変化とその恵みである米・酒・魚など食べ物が豊富である。この地で大学生活を送る諸君に、新潟の食と、それを食べることの楽しさを伝え、考えることを目的とする。また、これらに特段の経験を有する非常勤講師を迎え、その業に関する知識や実務に関する理解を深める。	15,000

令和7年度新潟大学授業暦

は、休業(講)日を示す。

は、授業振替日を示す。

() は、試験日を示す。

下線は、補講日等を示す。

u003cdiv data-bbox="56 132 119 146" data-label="Section-Header">

第1学期

	日	月	火	水	木	金	土	事 項
4 月			1	2	3	4	5	第1ターム 4月8日～6月5日 4/3入学式、4/4,7ガイダンス
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	29	30				
5 月					1	2	3	5/1 月曜日授業振替 5/7 火曜日授業振替
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	(30)	31	
6 月	1	(2)	(3)	(4)	(5)	6	7	6/1 開学記念日 第2ターム 6月9日～8月4日
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30						
7 月			1	2	3	4	5	
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	16	17	18	19	
	20	21	22	23	24	25	26	
	27	28	(29)	(30)	(31)			
8 月						(1)	2	8/11～9/30 夏期休業
	3	(4)	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
9 月		1	2	3	4	5	6	9/22 秋季卒業式
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30					

第2学期

	日	月	火	水	木	金	土	事 項
10 月				1	2	3	4	第3ターム 10月2日～12月1日 10/1 秋季入学式・ガイダンス
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31		
11 月							1	11/7 月曜日授業振替
	2	3	4	5	6	7	8	
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	(25)	(26)	(27)	(28)	29	
12 月		(1)	2	3	4	5	6	第4ターム 12月3日～2月10日 12/27～1/6 冬期休業
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31				
1 月					1	2	3	1/16, 19大学入学共通テスト準備・復元のため休講
	4	5	6	7	8	9	10	
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
2 月	1	2	3	(4)	(5)	(6)	7	
	8	(9)	(10)	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
3 月	1	2	3	4	5	6	7	3/11～3/31 春期休業 3/23 卒業式
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

授業週数							授業週数						
第1ターム	8	8	8	8	8		第3ターム	8	8	8	8	8	
第2ターム	8	8	8	8	8		第4ターム	8	8	8	8	8	

昼間コース	
1限	8:45 ～ 10:15
2限	10:30 ～ 12:00
3限	13:00 ～ 14:30
4限	14:45 ～ 16:15
5限	16:30 ～ 18:00

夜間主コース	
6限	18:10 ～ 19:40
7限	19:45 ～ 21:15